

# 農業委員会だより



### 引原峠大銀杏（網野町木津）

引原峠の国道178号沿に大きな銀杏の木があります。京都丹後鉄道の沿線にあり、黄葉の時期には鉄道とのコラボ写真が撮れることで撮影スポットとしても知られています。

## ● 目 次 ●

2~3P **農を語る** 梅田 和男 さん

### 7月1日から新体制スタート！

4~6P =農業委員・農地利用最適化推進委員紹介=  
=農業委員・農地利用最適化推進委員担当区域一覧=

7P **お知らせ** 全農地利用状況調査 など

8P **管内研修** 市内視察・パトロールを実施

# 農を語る



京丹後市農業委員会 会長

うめだ かずお

梅田 和男さん

## 会長就任あいさつ

令和7年7月1日に市長から19名の農業委員が任命され、私は、同日開催の総会において前期に引き続き会長に任命されました。続いて、農業委員会から農地利用最適化推進委員32名を委嘱し、計51名の委員による新たな体制での京丹後市農業委員会がスタートしました。

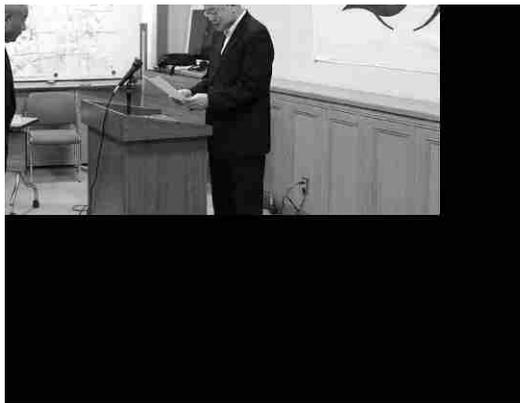
今回の委員改選において半数の方々が新しく委員となりました。初めて委員になられた方には、基本的な部分は抑えつつも新鮮な視点でもって活動をしていただきたいと思います。

ます。引き続き委員になられた方には、これまでの経験を活かした活動をしていただきたいと思います。私も会長としてだけでなく、一人の農業委員として、初めて委員になられた皆様、引き続き委員になられた皆様とともに委員会活動に取り組んでまいります。

さて、前期の3年間を振り返りますと、2022年当時は感染症拡大の影響が残り、混迷を極める国際情勢による燃料費、生産資材費等の大幅な高騰のため、農業経営のみならず、市民生活への影響が大きくなっ



農家としても酒米など稲作を主に栽培しています。



中山市長から任命を受ける梅田委員

ている情勢でありました。

そのような中、「令和の米騒動」とよばれる日本全体に影響を与える未曾有の米不足が発生し、大きな社会問題となり、連日大きく報道され、現在も続いています。

米不足の原因はいろいろ語られていますが、特に記録的猛暑と水不足は生産現場としては大問題です。この猛暑と水不足については、水稲に限らず、すべての農作物に影響を及ぼすものであり、市内農家でも作付けした半分以上が水不足を

原因としてダメになってしまったという話も耳にしています。

最近では、人がクマに襲われたというニュースが報道等でも取り上げられており、市内においても被害にあわれた方がおられます。農業においても、クマを始めとしたシカ、イノシシ、サル等々による鳥獣被害は、依然として大きな課題の一つです。

京丹後市の農業は、農業者の高齢化や担い手不足、鳥獣被害や風水害、猛暑などの自然災害に加え、社会情勢の影響による燃料費、生産資材費等の高騰により農業経営が圧迫されています。これらの要因により農業の衰退はもとより遊休農地の拡大や集落の存続が危ぶまれる状況となっています。

農業は一つの業種ではありませんが、「農村」という言葉があるように、昔から社会的、文化的価値など重要な役割や機能を有しており、市民生活に深

く関わっています。農業委員会では、農業を地域の重要産業として発展させ、農業者の所得向上を図るために「農地利用の最適化と農地集積」「遊休農地の解消」「地域計画の定期的な見直し」「新規就農者の発掘」など様々な活動に取り組んでおります。

京丹後市の農業形態は水田を中心に国営農地、砂丘、果樹、畜産など多種多様に富んでおり京都市最大の農業地帯です。この特色を生かしつつ農業を発展させるために京都市、京丹後市などの行政をはじめとしてさまざまな関係機関と密に連携をとり農業委員会活動に取り組んでいく所存です。皆様の一層のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

文／梅田和男委員



## 全国農業新聞を購読してみませんか？



全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。週刊紙の特性を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

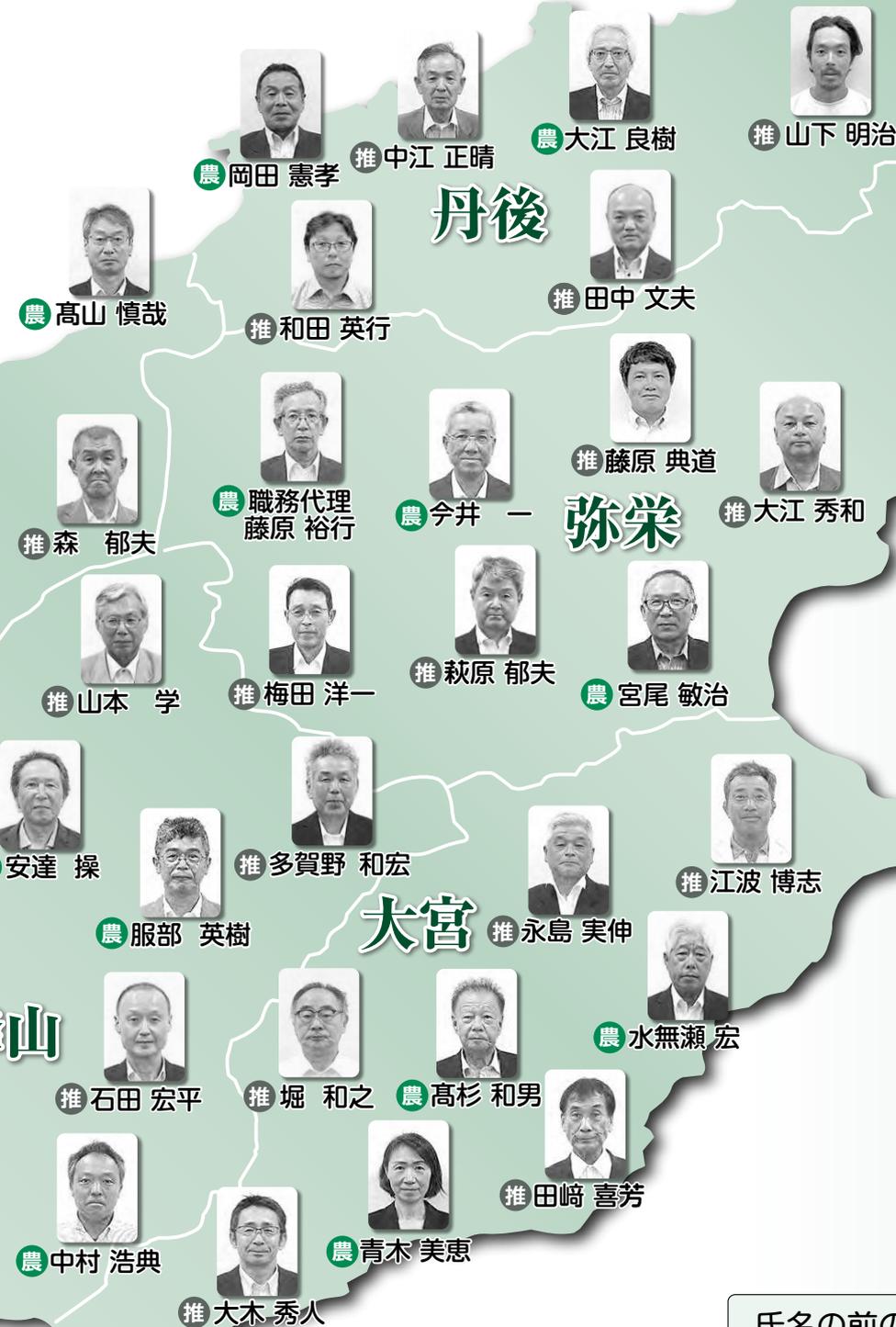
また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円(消費税込み)

# 日から新体制スタート!

農地利用最適化推進委員32名の総勢51人の新体制でスタート!!



氏名の前の

農 … 農業委員

推 … 農地利用最適化推進委員

**7月1日**  
農業委員19名、

### 農業委員の主な仕事

- 農地法に基づく各種申請の審議
- 地域計画策定や見直しなど地域の話し合い活動への参画
- 農業委員会の運営と各種広報活動 など

### 推進委員の主な仕事

- 地域計画策定や見直しなど地域の話し合い活動への参画
- 管内遊休農地発生防止・解消活動
- 農地の集積・集約化に係る活動
- 新規就農に関する活動 など



## 農業委員担当区域・農地利用最適化推進委員担当区域一覧

町	農業委員氏名	推進委員氏名	担当区域
峰山町	あだち みさお 安達 操	たにくち こうさく 谷口 幸作	安、西山、小西、新治、杉谷
		いしだ こうへい 石田 宏平	長岡、菅
	なかむら こうすけ 中村 浩典	たなか まさひこ 田中 正彦	久次、鱒留
		いのうえ ひでし 井上 秀史	二箇、五箇
はつとり ひでき 服部 英樹	たがの かずひろ 多賀野和宏	新町、荒山、内記	
	やまもと まなぶ 山本 学	丹波、矢田、橋木、石丸、赤坂	
大宮町	たかぎ かずお 高杉 和男	ほり かずゆき 堀 和之	口大野、善王寺
	あおき みえ 青木 美恵	おおき ひでひと 大木 秀人	奥大野、上常吉、下常吉
		たさき きよし 田崎 喜芳	三重、森本、谷内、三坂
	みなせ ひろむ 水無瀬 宏	えなみ ひろし 江波 博志	明田、延利、五十河、新宮、久住
ながしま みゆ 永島 実伸		周枳、河辺	
網野町	うめだ かずお 梅田 和男	いのうえ せいじ 井上 清詞	網野、浅茂川、下岡、小浜
	たかやま しんや 高山 慎哉	もり いくお 森 郁夫	島津、仲禅寺、掛津、遊、三津
	ひきの よしひと 引野 禎人	ひきの いくお 引野 都夫	高橋、公庄、郷、生野内、切畑、新庄
		はたなか たかあき 畑中 孝昭	加茂川、岡田、中立、温泉、下和田、上野、俵野、溝野、浜詰、磯
丹後町	おかだ のりたか 岡田 憲孝	なかえ まさはる 中江 正晴	間人、砂方、竹野、宮、牧ノ谷、願興寺、家ノ谷、筆石、乗原、此代、三宅、大山
		わだ ひでゆき 和田 英行	徳光、成願寺、岩木、是安、吉永、矢畑
	おおえ よしき 大江 良樹	たなか ひみお 田中 文夫	平、井上、中野、井谷、畑、遠下、鞆内
		やました あきはる 山下 明治	袖志、尾和、中浜、久僧、上野、谷内、上山
弥栄町	みやお としはる 宮尾 敏治	うめだ よういち 梅田 洋一	吉澤、芋野、堤
		おおえ ひでかず 大江 秀和	溝谷、外村、等楽寺、中山、中津、田中、野中、吉野、霰、須川、来見谷、大谷、味土野、川久保
	いまい はじめ 今井 一	ふじわら のりみち 藤原 典道	船木、黒部、小田、国久、井辺
	ふじわら ひろゆき 藤原 裕行	はぎわら いくお 萩原 郁夫	鳥取、木橋、和田野
久美浜町	そでなが ひろゆき 袖長 広之	たけなか みねあき 竹中 峰明	向町、十楽、仲町、土居、東本町、西本町、新町、新橋、栄町、神谷、河梨、口馬地、奥馬地、口三谷、奥三谷、甲坂、栃谷
		まつもと よしお 松本 義雄	甲山、浦明、長柄、神崎、鹿野
	にしむら 西村いつき	ふくだ ひろし 福田 浩	市野々、布袋野、畑、金谷
		どで よしまさ 土出 義正	市場、出角、須田、新庄
	たけなか しげる 竹中 茂	いわさ まこと 岩狭 真	橋爪、海土、油池、西橋爪、坂井、友重、品田、新谷、谷、芦原、島
		おぐに つよし 小國 剛志	えちえ あきのり 越江 昭公
のむら たくお 野村 拓生	郷、円頓寺、坂谷、長野、竹藤、女布、丸山、永留		
きした としお 木下 寿男	おくた たかかず 奥田 功一	壱分、大井、関、三原、三分、平田	
	まつもと ひみお 松本 文雄	箱石、葛野、湊宮、大向、河内、蒲井、旭	

## お知らせ

### 地域計画見直しに関する協議の場

令和7年3月に策定された地域農業の将来の在り方をまとめた「地域計画」は、定期的に協議の場を設けて継続的にブラッシュアップをすることが必要です。令和7年7月29日には、アグリセンター大宮で市全域の見直しのための協議の場が開催されました。



R7.11.5 に開催された大宮町の協議の場の様子

その後も、更なる見直しに向けて各地域で協議の場が開催(予定含む)されており、農業委員会委員も担当地域の協議の場で話し合いに参加しています。

地域計画の実現に向けて地域の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 農地を相続したら届け出をお願いします

相続による農地の所有権移転は、農地法の許可手続きは不要ですが、相続により農地の権利を取得したことを農業委員会に届け出ることが必要です。届出書に、相続した農地と相続した(権利を取得した)方の氏名等を記載し提出してください。登記完了証の写しなどを別紙として添付していただくことで記載を省略していただくこともできます。

未相続農地のままだと、後々問題(権利関係が複雑になり、所有者不明農地となるなど)が生じることがありますので、速やかに相続登記を行っていただき、届出書の提出をよろしくお願いいたします。



### 全農地利用状況調査を行いました

毎年7～8月頃、農業委員会では、①農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用の発生防止・早期発見を目的に、農地利用最適化推進委員と農業委員が担当区域ごとに市内の全農地の利用状況調査及び遊休農地と判断した農地の写真撮影を行っています。今年は、新体制となってすぐの調査となりましたが、委員間でも協力しながら市内全域において実施しました。

全農地利用状況調査期間外でも、必要に応じて、農地の利用、状態の確認等のため委員や事務局職員が農地への立ち入り、写真撮影などを行うことがありますが、皆さま方のご理解、ご協力をお願いします。

問／農業委員会事務局 TEL69-0040



【写真 左】株式会社みらい久美浜の乾燥調製施設



【写真右上】竹田農園の竹田克寛さん



【写真右下】シーズファーム株式会社の山野賢一郎さん

## 農業委員会 管内研修

### 市内視察・パトロール

京丹後市農業委員会では、管内研修として、市内の農業者を訪問したり、農地法の申請のあった農地を確認したりする市内視察・パトロールを毎年実施しています。

農業者の声を聞いて意見交換を行い市内の農業事情を把握したり、申請案件が適正に利用されているか、違反転用が行われていないかなどを確認したりといった農業委員会の活動の基礎となる情報収集を行うものです。

今年も、農業者訪問を主として、「さつまいも・オリーブ・ザイヤー」で2年連続全国1位を獲得した竹田農園（京丹後市峰山町）の竹田克寛さん、国の補助事業で乾燥調製施設などを導入し周辺地域の水稻栽培をサポートする株式会社みらい久美浜（同市久美浜町）代表取締役の關昌弘さん、野菜苗の販売などを行うシーズファーム株式会社（同市網野町）代表取締役の山野賢一郎さんの3名を訪問し、ほ場などを見学した後、工夫点や、当面の経営課題等について意見交換を行いました。

今後市内の現状を把握し、農業委員会活動に活かしていくために管内研修を続けていきます。皆様のご協力をお願いします。

京丹後市農業委員会

## 農業者年金に加入しましょう

- 🌱 **農業従事者なら広く加入できます**  
(20歳以上65歳未満、国民年金第1号被保険者、年間60日以上農業に従事)
- 🌱 **積立方式の確定拠出型年金です**  
(加入者・受給者数の増減に左右されない、安定した制度です)
- 🌱 **終身年金であり、年金は生涯受給できます**  
(80歳までにお亡くなりになった場合には、死亡一時金をお支払いします)
- 🌱 **公的年金であるため、税制面で大きな優遇措置があります**  
(支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象になり、所得税・住民税等の節税になります)
- 🌱 **通常加入なら、保険料の額は自由に選べ、いつでも見直しできます**  
(月額2万円から6万7千円まで、千円単位で選択できます)
- 🌱 **政策支援加入なら、保険料の国庫補助があります**  
(一定の要件を満たした担い手【認定農業者・認定就農者等】は、保険料の補助が受けられます)



<https://youtu.be/51Noth7wA4g>



●農業者年金 CM